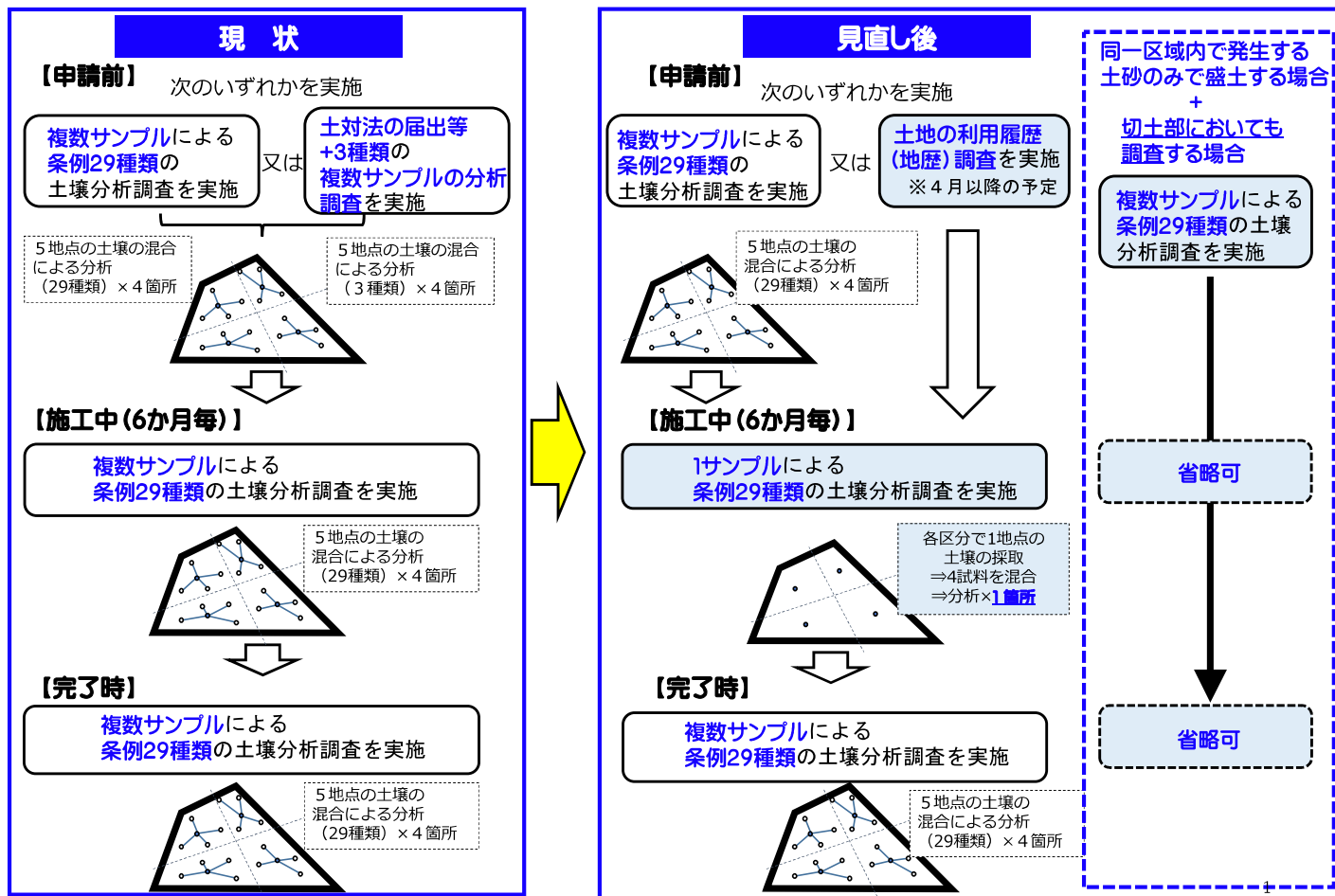


# 盛土条例における土壌分析調査の運用の見直し(まとめ) ※ 水質調査は変更なし



同一区域内で発生する  
土砂のみで盛土する場合  
+  
切土部においても  
調査する場合

複数サンプルによる  
条例29種類の土壌  
分析調査を実施

省略可

省略可

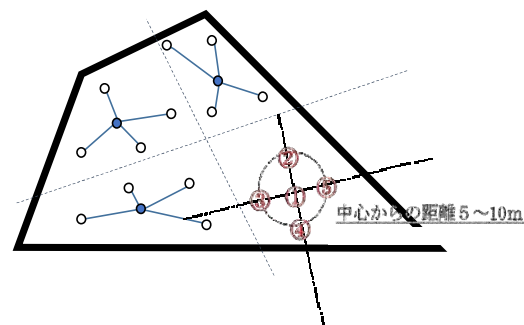
## 盛土条例における土壌分析調査の運用の見直し (現状)

### 現 状

### 【申請前、定期調査、完了時】

〈調査方法のイメージ〉

(例) 盛土等の区域の面積1.9haの場合 ⇒ 4区域に区分



AまたはBのいずれかで実施

**A 4区分×5地点×29種類**

**B 土壌汚染対策法の届出等  
+  
4区分×5地点×3種類**

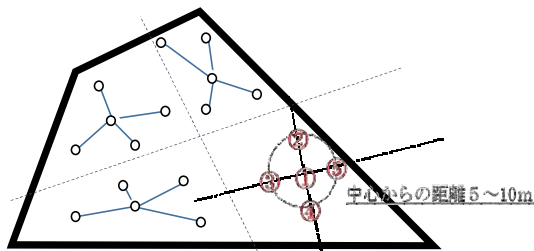
※ただし、定期、完了時は29種類

- [手順 1]  
・盛土等を行う区域を面積に応じて定められた数に区分する。
- [手順 2]  
・区分の中心付近に調査地点①を選定する。  
・採取位置付近の状況写真を撮影する。
- [手順 3]  
・調査地点①を交点とした直交線を引く。
- [手順 4]  
・調査地点①から 5 ～ 10m の距離となる直交線上に調査地点 ②～⑤を選定する。
- [手順 5]  
・調査地点①～⑤において、等量の試料を採取する  
・採取状況を写真撮影する。  
・採取する深さは、地表から50cmまでの土砂等を均等に採取する。  
・ただし、岩盤等により掘削採取が困難である場合や安全管理上の問題により、50cmまでの試料採取が困難な場合は、この限りではない。
- [手順 6]  
・調査地点①～⑤から採取した試料を合わせて1試料とし、別表第1の左欄に記載された物質の種類ごとに分析を行う。
- [手順 7]  
・各区分(例：4区分)において、手順1～6により土壌の汚染状況の調査を行う。

## 盛土条例における土壌分析調査の運用の見直し（見直し後：申請前）

### 【申請前】

#### （現状）



4 区分× 5 地点×29種類

#### （見直し後）

今までどおりの分析調査に加えて

**地歴調査も認める**

**予定**

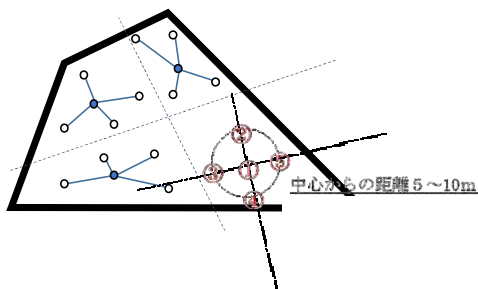
- ※ 現在、施行規則改正に向けてパブリックコメントを実施中
- ※ この意見を踏まえ、4月に改正施行規則を施行予定
- ※ 必要な書類や方法等の詳細は、施行日までに「申請等の手引き」等にて公表します。

3

## 盛土条例における土壌分析調査の運用の見直し（見直し後：定期調査）

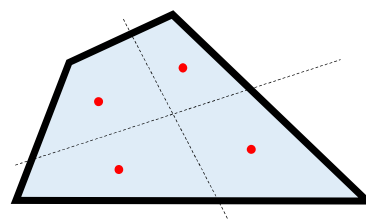
### 【定期調査（6か月毎）】

#### （現状）



4 区分× 5 地点×29種類

#### （見直し後）



**4 区分 × 1 地点 × 29 種類**

- ・盛土等区域を4区分
- ・各区分の5地点の土壌の混合による分析（29種類）を実施

- ・盛土等区域を4区分
- ・各区分の1地点の土壌の混合による分析（29種類）を実施

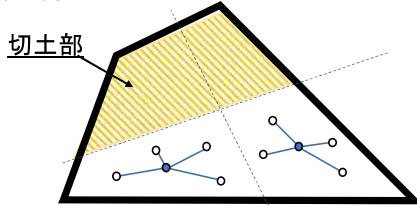
4

# 盛土条例における土壌分析調査の運用の見直し（見直し後：土砂等の現地流用）

## 同一区域内で発生する土砂のみで盛土する場合

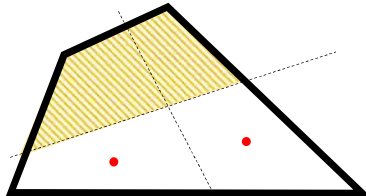
（現状）

【申請前】

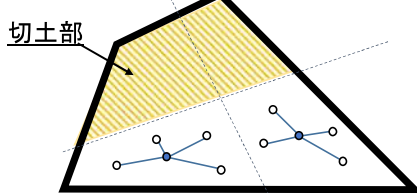


2区分×5地点×29種類

【施工中（6か月毎）】

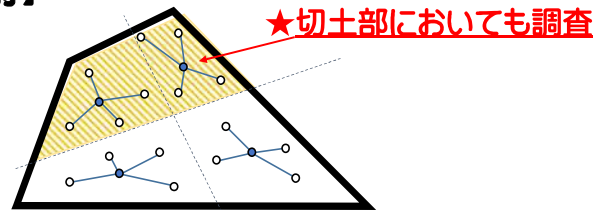


【完了時】



（見直し後）

【申請前】



4区分×5地点×29種類

【施工中（6か月毎）】

省 略 可

【完了時】

省 略 可

5

## 同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合（例1）

【条件】

- 同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合  
かつ
- 申請前に切土及び盛土等区域の分析調査を実施する場合

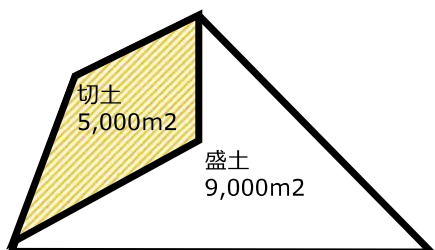


- ★ 施行中（6か月毎）の定期調査の省略可能
- ★ 完了時の調査の省略可能

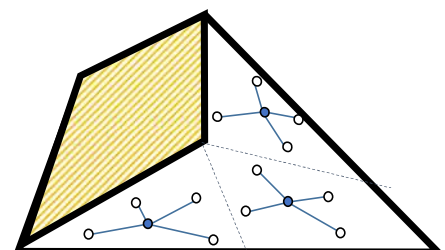
【分析調査箇所の選定の手順】

（例1）

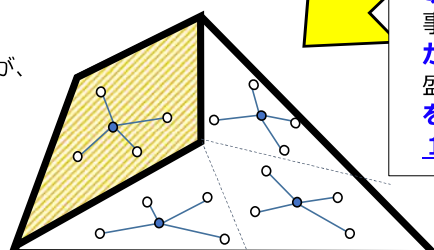
- ・ 事業区域面積：14,000m<sup>2</sup>
- ・ 盛土等区域面積（無色）：9,000m<sup>2</sup>
- ・ 切土区域面積（ハッチ）：5,000m<sup>2</sup>



- ・ 盛土等区域面積（無色）が9,000m<sup>2</sup>なので、3区分において5地点（29種類）の調査を実施



- ★ 区分表では、5,000m<sup>2</sup>の場合、2区分での分析調査が必要となるが、切土区域の調査は、差し引きによる1区分で可



- ・ 切土区域の区分数は、事業区域面積14,000m<sup>2</sup>に応じた区分数（4区分）から盛土等区域面積（無色）に応じた区分数（3区分）を差し引いた1区分での調査（5地点、29種類）となる。

6

## 同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合（例2）

### 【条件】

- 同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合  
かつ
- 申請前に切土及び盛土等区域の分析調査を実施する場合



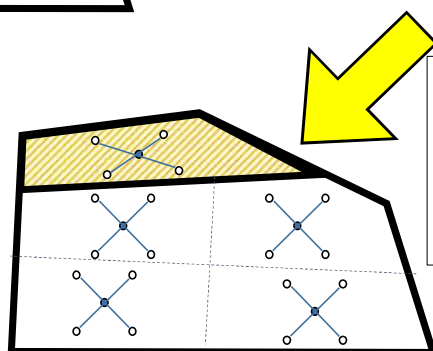
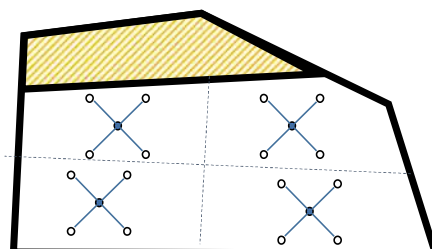
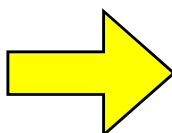
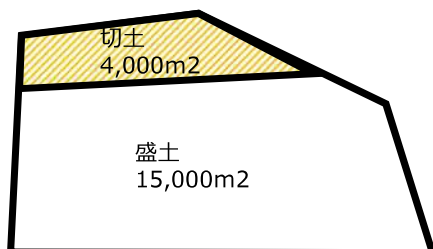
- ★ 施行中（6か月毎）の定期調査の省略可能
- ★ 完了時の調査の省略可能

### 【分析調査箇所の選定の手順】

#### （例2）

- ・ 事業区域面積：19,000m<sup>2</sup>
- ・ 盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup>
- ・ 切土区域面積(ハッチ)：4,000m<sup>2</sup>

- ・ 盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup>  
⇒ 4区分



- ・ 切土区域の調査箇所は、  
事業区域面積：19,000m<sup>2</sup>⇒4区分  
盛土等区域面積(無色)：15,000m<sup>2</sup>⇒4区分  
4区分 - 4区分 = 0区分 となるが、  
**切土区域についても最低1区分の分析調査を実施**

7

## 同一事業区域内で発生する土砂等のみを用いて盛土等を行う場合の考え方

### 【盛土等区域の面積による土壤調査区域の数】

### 【申請等の手引きより】

#### ②調査方法（施行規則第6条第4項）

ア 次の表の左欄に掲げる盛土等区域の面積の区分に応じ、当該盛土等区域をそれぞれ当該右欄に定める区域の数以上の区域に区分して行うこと。

盛土等区域の面積	区域の数
0.5ヘクタール未満	2
0.5ヘクタール以上1ヘクタール未満	3
1ヘクタール以上2ヘクタール未満	4
2ヘクタール以上3ヘクタール未満	5
3ヘクタール以上4ヘクタール未満	6
4ヘクタール以上5ヘクタール未満	7
5ヘクタール以上6ヘクタール未満	8
6ヘクタール以上7ヘクタール未満	9
7ヘクタール以上8ヘクタール未満	10
8ヘクタール以上9ヘクタール未満	11
9ヘクタール以上10ヘクタール未満	12
10ヘクタール以上	13

8